



放射能対策推進町民会議だより

第36号 平成29年12月6日発行 会長：高橋 宣博

事務局：桑折町環境対策課 ☎024-582-2123

平成29年度視察研修を開催しました

11月8日に町民会議役員34名で視察研修を実施いたしました。

今年度は、「東京電力(株)福島第一原子力発電所」と「レナトス相馬ソーラーパーク」を視察しました。

東京電力(株)福島第一原子力発電所では、事故から6年7か月が経過した発電所構内の現状を、バスの中から担当職員の説明を受けながら視察しました。

現在廃炉に向け作業が進められている3号機では、プールからの燃料棒取り出し作業を行うためのドーム屋根の設置作業を、また1号機ではガレキ撤去時のダスト飛散を抑制するための防風フェンスの設置状況などを視察しました。

参加者は、熱心に説明者の話に耳を傾けながら視察し、「ニュース等の報道では第1原発の状況を見ていたが、実際に見ることで大変な作業であることが実感できた。」等の話が聞か



(作業状況を見守る参加者)



れました。

また、今年度から町民会議の事業内容に加わった「原子力エネルギーの代替となる再生可能エネルギーに関する事業の推進活動」の研修として、レナトス相馬ソーラーパークを視察しました。

この施設は、相馬市磯部地区に東北地方太平洋沖地震による津波の被害を受け、農作が困難になった農地を利用し大規模太陽光発電設備を設置し、今年6月1日に運転が開始されました。当日は施設の概要等を(株)北斗電気設備工事代表取締役の菅野氏から、施設の概要(敷地面積は約684,000㎡、パネル枚数は197,932枚、出力規模は52,452kw)や、年間予想発電量(一般家庭約16,600世帯分の年間消費電力量に相当する約60,000,000kw)等の説明をしていただきました。

参加者からは、「津波被害の大きさを改めて知るとともに、被害農地の復興に向け取り組んでいる方の話を聞いて良かった。」等の感想が聞かれました。



(説明に耳を傾ける参加者)

